

ご使用に際して、この説明書を必ず読んで下さい。
また、必要な時に読めるよう本剤とともに保管して下さい。

芍薬甘草湯エキス顆粒A

(しゃくやくかんぞうとう)

第2類医薬品

本剤は、漢方の古典「傷寒論」に収載されている芍薬甘草湯に準拠して製造されたエキス顆粒剤です。

⚠ 使用上の注意

❌ してはいけないこと

(守らないと現在の症状が悪化したり、副作用がおこりやすくなる)

1. 次の人は服用しないこと
次の診断を受けた人
心臓病
2. 症状があるときのみの服用にとどめ、連用しないこと



■ 相談すること

1. 次の人は服用前に医師、薬剤師又は登録販売者に相談すること
(1)医師の治療を受けている人。 (4)次の症状のある人。：むくみ
(2)妊婦又は妊娠していると思われる人。 (5)次の診断を受けた人。：高血圧、腎臓病
(3)高齢者。
2. 服用後、次の症状があらわれた場合は副作用の可能性があるので、直ちに服用を中止し、この文書を持って医師、薬剤師又は登録販売者に相談すること
まれに下記の重篤な症状が起こることがある。その場合は直ちに医師の診療を受けること。

症状の名称	症 状
間 質 性 肺 炎	階段を上ったり、少し無理をしたりすると息切れがする・息苦しくなる、空せき、発熱等がみられ、これらが急にあらわれたり、持続したりする。
偽アルドステロン症、 ミ オ パ チ ー	手足のだるさ、しびれ、つっぱり感やこわばりに加えて、脱力感、筋肉痛があらわれ、徐々に強くなる。
うっ血性心不全、 心 室 頻 拍	全身のだるさ、動悸、息切れ、胸部の不快感、胸が痛む、めまい、失神等があらわれる。
肝 機 能 障 害	発熱、かゆみ、発疹、黄疸（皮膚や白目が黄色くなる）、褐色尿、全身のだるさ、食欲不振等があらわれる。

3. 5～6回服用しても症状がよくなる場合は服用を中止し、この文書を持って医師、薬剤師又は登録販売者に相談すること

【効能・効果】

体力に関わらず使用でき、筋肉の急激なけいれんを伴う痛みのあるもの次の諸症：こむらがり、筋肉のけいれん、腰痛、腰痛

【用法・用量】

下記の量を食前又は食間に水又は温湯にて服用して下さい。

年 齢	1 回 量	1 日 服 用 回 数	年 齢	1 回 量	1 日 服 用 回 数
大人(15歳以上)	1 包	3 回	4 歳未満 2 歳以上	1/3 包	3 回
15歳未満 7 歳以上	2/3 包		2 歳未満	服用しないこと	
7 歳未満 4 歳以上	1/2 包				

【用法・用量に関連する注意】

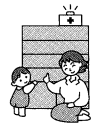
- (1)小児に服用させる場合には、保護者の指導監督のもとに服用させること。
- (2)用法・用量を厳守すること。

【成分・分量】 [本品1日量3包(1包1.5g)中]

日本薬局方 シ ャ ク ヤ ク……………3.0g 日本薬局方 カ ン ソ ウ……………3.0g
より製した水製乾燥エキス……………1.34g
添加物として乳糖、パレイシヨデンプンを含有する。

保管及び取扱い上の注意

- (1)直射日光の当たらない湿気の少ない涼しい所に保管すること。
- (2)小児の手の届かない所に保管すること。
- (3)他の容器に入れ替えないこと。(誤用の原因になったり品質が変わる。)
- (4)1包を分割した残りを服用する場合には、袋の口を折り曲げて保管し、2日以内に服用すること。
- (5)本剤は生薬を原料としたエキスを用いた製品ですから、製品により色調や味が多少異なることがあります。効果には変わりありません。



【問い合わせ先】

本製品についてのお問合せは、お買い求めのお店、または下記にお願い申し上げます。

東洋漢方製薬株式会社「お客様相談室」

電話 0120-00-1040

受付時間 9：00～17：00（土、日、祝日を除く）

副作用被害救済制度の問い合わせ先

(独)医薬品医療機器総合機構

http://www.pmda.go.jp/kenkouinigai_camp/index.html

電話 0120-149-931(フリーダイヤル)

製造販売元

東洋漢方製薬株式会社

〒584-0022 大阪府富田林市中野町東2丁目1番16号